

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	川西南中学校区市立幼保連携型認定こども園整備工事	階数	地上3F
建設地	兵庫県川西市加茂3丁目13番地内	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,300 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年11月15日
敷地面積	2,298 m <sup>2</sup>	作成者	七田英治
建築面積	1,160 m <sup>2</sup>	確認日	2017年11月16日
延床面積	2,214 m <sup>2</sup>	確認者	安藤恵治



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 建物は西側から東側にL字型に配置し、建物の効率化と園庭の使いやすさと広さを確保するように努めた。隣接する施設の配置計画を利用し歩行者動線と車動線を分離し、エントランス前は、庇やピロティを設け、濡れない工夫に努めた。		
<b>Q1 室内環境</b> 各保育室、諸室の床仕上げはフローリング貼り、腰壁は木目調のボード貼りとし、温かみのある園舎としている。	<b>Q2 サービス性能</b> 来園者、職員に配慮して、バリアフリーの基準を満足した人にやさしい園舎とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内緑化、屋上緑化を行う計画としている。地域からも園内が見える、見通しの良いフェンスを設置している。
<b>LR1 エネルギー</b> 屋上緑化、Low-Eガラス、トップライト等、自然エネルギーを活用する計画とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型器具の採用を行い省エネルギーに配慮した計画としている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 外構計画で植栽計画を行い、給食搬入専用スペースを設け、周辺に配慮した計画としている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q: Quality** (建築物の環境品質)、**L: Load** (建築物の環境負荷)、**LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性)、**BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される